

ネイチャー・ウォーク

平成 26 年 12 月号

2014. 12. 13 発行

(通巻第 252 号)

公益財団法人
ECO SAITAMA 埼玉県生態系保護協会

：部会：自然を歩く会

■先月のネイチャーウォーク

こうのとりの里をたずねて

こ～の鳥はコウノトリなのだ！ あなたは運が(運河)いい！

(東武アーバンパークライン 運河駅～同駅)



東武線の運河駅に集合してはじまった今回のネイチャーウォーク。

今回はなんと 48 名もの参加がありました。

秋の穏やかで絶好の歩き日和の天候のもと、コウノトリのいる野田自然共生ファームを目指して歩きます。



サギ類やカモ類、カワセミなど水辺の鳥たちを見つつ歩きます。コウノトリが待つという期待感からか、ややペースは速めだったかも？



有刺鉄線上のモズのはやにえ



田園地帯を歩きます

途中、メガソーラー発電所わきの有刺鉄線上には、いくつものモズのはやにえも見
かり、驚きの声も上がっていました。

野生の生きものたちが暮らしやすいように、冬季湛水などの取り組みが行われている
田園地帯を抜け、野田自然共生ファームに到着です。



木全さんに取組をご紹介します



真剣に講義に聞き入っています

お昼ごはんの後には、野田自然共生フ
ァームの木全常務取締役から、野田自然
共生ファームの成り立ちと取り組みに
ついてご紹介いただきました。

30分程度の講義に、みなさん、真剣
に聞き入っていました。

木全さん、貴重なお話、本当にありが
とうございます。



待望のコウノトリの姿

待望のコウノトリたちとご対面。
飼育員の武田さんのお話にみなさん、真剣に耳を傾けていました。

小さな卵から生まれた雛は、毎日1キロのエサを食べ、2か月後には親と同じ大きさになるそうです！彼らがくらせる環境を早く取り戻したいですね。



飼育員の武田さんの話に耳を傾けます



ぬかるみからの脱出のため、苦勞している学生さんに声援が飛びます

理窓会記念自然公園にて紅葉などを楽しみつつ遊歩道を歩きます。この公園は、東京理科大学の創立100周年を記念して造られた公園です。公園内では、学生さんが調査中。湿地のぬかるみに足をとられた学生さんの脱出に声援が送られました。



今回は2名の方にWalk認定証が贈られました。おめでとうございます。
最後はスタート地点の運河駅に戻ってゴール！みなさん、お疲れ様でした。